

# 高浜2号機再稼働

## 40年超原発3例目 関電7基態勢

関西電力は15日、高浜原一(万巻)の原子炉を起動し、入りして以来、約12年ぶり  
再稼働させた。東京電力福  
2011年11月に定期検査

島第1原発事故後、国内で再稼働した原発は12基目。事故の教訓を踏まえた原子力規制委員会の新規制基準の下、関電の全原発7基が再稼働したことになる。Ⅱ  
関連②面、核心③面

再稼働した1975年高浜2号機は1975年の営業運転開始から47年が経過。国内では、7月に再稼働し、営業運転開始から48年となる高浜1号機に次いで古い。新規制基準下での40年超原発の稼働は関電美浜3号機(美浜町)、高浜1号機に続いて3例目。関電の原発は、再稼働が進む一方、構内の燃料プール

にたまり続ける使用済み核燃料の行き先確保が急務となっている。岸田政権は昨年、原発の最大限活用を打ち出し、今年5月に60年を超える運転を可能とする法律が成立、高経年化した原発の安全性向上も課題だ。関電によると、16日に核

分裂が安定して続く「懸念」に到達、20日に発送電を始める。10月16日に営業運転に入る見通し。